

令和7年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立向島中学校	対象となる主な学年	全学年
取組事例名	「小中合同あいさつ運動」		

◆ 生徒の実態及び取組を通して育てたい生徒像

生徒の実態	取組を通して育てたい生徒像
<p>挨拶をすればほとんどの生徒が挨拶を返してくれるが、自分から挨拶ができる生徒は多くない。 ボランティア活動への参加を促しているが、全校生徒の約4割が一度も参加したことがない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら挨拶ができる生徒 ・社会参画、ボランティア活動に積極的に参加し、地域に貢献することができる生徒



◆ 取組の具体的内容

取組を実施する意図及びねらい
<ul style="list-style-type: none"> ・校区全体であいさつの意識を高める ・生徒会と児童会の交流を図る ・ボランティアを通して、地域に貢献できる生徒を育成する
取組の流れ・創意工夫・生徒の変容等
<p>1. 小中合同会議開催（夏季休業中） 校区の生徒指導担当教員が集まり、向島中学校校区の児童生徒の課題の共有や今後の取組について話し合いを行った。校区の課題として、「挨拶」と「児童会と生徒会の交流」があげられたことから、2学期に「小中合同あいさつ運動」を企画し、実行することにした。</p> <p>2. 企画・立案（生徒会執行部） ○生徒会執行部に企画・立案をさせた。 ・小学校は児童会の児童が、小学校であいさつ運動を行う。 ・中学校は生徒会執行部を割り振りして、各小学校であいさつ運動を行う。 ・中学校では、ボランティア生徒を募り、母校の小学校であいさつ運動を行う。</p> <p>3. 事前連携（各校児童会と生徒会） ○オンライン（Meet）で各小学校の児童会と生徒会が事前連携を行った。 ・当日の動きの確認、各校のあいさつの状況、各校の取組等</p> <p>4. 事前説明会 ・生徒会執行部がボランティア生徒に目的や当日の動き等を確認した。</p> <p>5. 当日 ・各校で、ボランティア生徒と児童会と一緒にあいさつ運動を行う。</p> <p>6. 振り返り ・あいさつ運動実施後、参加した生徒に振り返りを書かせた。</p>



◆ 成果（○）と課題及び今後に向けて（●）

○これまでは行われていなかった、児童会と生徒会の交流の機会をつくることになった。
○76名（全校の28%）の生徒がボランティアとして参加した。
○振り返りでは、「挨拶の大切を再認識することができた。」「自分から挨拶をする良い機会となった。」「中学生よりも元気に挨拶をしていた。」などの記述が見られ、挨拶の意識を高めることができた。
●取組後に児童会と連携ができていなかったため、次回は取組後の動きについても検討する必要がある。